

## 監事監査報告書

平成 28 年度第 1 回監事監査結果につきまして次のとおり報告いたします。

監事 曽場 利夫  
監事 藤山 勝光

監査日時 平成 28 年 5 月 20 日(金曜日) 13 時 30 分～17 時

監査場所 法人研修センター 2 階研修室

監査監事 藤山 勝光 曽場 利夫

監査内容 I 事業運営状況について(平成 28 年 1 月～3 月)

① 法人本部事業の運営状況

② 各施設・事業所の運営状況

II 平成 27 年度の各会計資金収支予算の執行状況並びに決算について

III 銀山学園のチームコンベクションオーブンの導入に係る指名競争入札の

執行状況について

IV 預かり金サービスの管理状況について

V その他

## 監査結果及び意見

■社会福祉法人後志報恩会定款第23条の定めにより前記の内容について監査を実施しました。法人並びに各施設・事業所の運営及び予算執行、預かり金サービスの管理につきましては適切に行われております。その内容につきまして、意見を含めてご報告いたします。

■平成28年度第4四半期においては評議員会・理事会が3月25日に開催され、社会福祉事業会計並びに公益事業会計において所要の補正措置がとられた他、副総合施設長をはじめとする管理者の選任や平成28年度の法人事業計画について審議されております。

法人運営においては、山崎理事長が引き続き全国経営協の障害福祉経営事業委員会に参画されて社会貢献活動のあり方について提言されております。また、幹部職員による企画調整会議、法人運営会議が適宜開催され、権利擁護への取り組みや今後の経営計画等について議論されております。その他、施設管理職が責任者となって総務部科長会議、支援責任者会議、医療・食生活連絡会議、研修委員会、リスクマネジメント委員会、雇用検討委員会等が開催されており、その会議等の実施状況と検討内容を確認しております。

■施設運営においては、平成28年2月18日に銀山学園における避難訓練が仁木町地域防災訓練として、陽だまりにおいては2月16日に仁木町と連携して暴風雪を想定した避難訓練が実施されております。

和光学園を中心とした小樽地区においては、2月に地震を想定した避難訓練やグループホームにおける自衛消防訓練が行われております。

熊本地震において多くの被害や被災者の報告がなされておりますが、今後とも原子力防災等を含め、災害時対応の重要性について再確認するとともに、取り組みの充実をお願いします。

■各施設・事業所の職員会議や研修等の内容を確認し、事業計画に則り活発に実施されていることを報告させていただきます。特に、相談支援センターHIROBA並びに相談支援センターにきにおいては「スタッフ会議」、「地域連携会議」が月に数度にわたり実施され、後志地区を中心として関係機関との連携が一層、強化されております。関係職員の取り組みを高く評価するところです。

■利用者の事故等の発生状況については、落葉などの服薬に関するものや利用者間のトラブルが数件報告された他、転倒等にともなう裂傷が2件、骨折が2件発生しております。いずれも事故発生後は適切な対応がとられております。利用者等からの苦情の訴えはこの間、確認されておりません。

■平成27年度の予算の執行状況について報告いたします。

社会福祉事業会計の事業活動収入については第3次補正予算との対比で100.90%、事業活動支出では98.30%の執行率でした。その結果、1億3千597万円ほどの事業収支差額を計上しております。収支差額をもって、施設整備資金の償還や固定資産の取得等に4千303万円を充てた他、積立資産や事業間の繰入に6千56万円が充当され、3千237万円を平成28年度に繰越す結果となりました。

公益事業会計においては、事業活動収支差としてマイナス118万円を計上し、社会福祉事業会計からの繰入をもって資金が充当されております。

■事業損益においては3期振りに黒字に転換し、5千694万円の当期利益を計上しております(当期利益率3.17%)。しかし、福祉事業本体の利益率は全体で0.46%の損失となっており、6千329万円余りに上る雑収入等を中心とした事業活動外収入等をもって当期利益を計上する結果となっています。

今後は財務規律の確立が一層求められることから、多岐にわたる雑収入の収入構造を分析し、会計基準に基づいた処理の適正化を図るべく、見直し作業を進めていかれるよう要望いたします。

また通所事業を中心として単体の事業所間に利益率の格差が生じていることから事業ごとに経営体质の改善が求められるところです。法人が中期的に計画する事業計画の実現はまさしく、利用者ニーズの実現に他なりません。新たな事業展開の自主財源の確保に向けては法人の財務体质の強化が必須の課題といえます。

■銀山学園におけるスチームコンベクションオーブンの導入に伴う指名競争入札の実施に関しては、前回の理事会において入札条件の設定について理事より意見があつたことから、入札の条件設定並びにその実施状況を確認しました。

指名業者に示した仕様書には一定の設備仕様を示した上で、加えて「機種性能・機能が同等であれば提案可能」との一文が明記されていることを確認いたしました。また、応札の実際においても異なる機種をもって入札されております。入札の執行状況も確認の上、この度の入札は適切に執行されたと判断されます。

今後の入札に係る議案の審議にあたっては、条件の設定内容を十分に精査した上で提案されることを要望します。

■利用者の預かり金サービスの管理状況を確認し、適正に管理されていることを報告いたします。また、預かり金の管理規定につきましては、規定案を検討する段階となっており、今後において原案の提示が行われる見込みです。